

鑑賞作品名： 長沢芦雪「虎図襖」「龍図襖」

個
別
的
理
解

④ 鑑賞作品に関する技法・主題等の事実（文献等による）

障壁画，水墨画，付立，四獣

⑥ 鑑賞作品を「造形的な視点で捉える」ための発問

「長沢芦雪が描いた虎には，どんな特徴がありますか？」

（他の虎図と比較して）

⑤ 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション

「リアルというよりキャラクターみたい」

「墨がにじんだりしているから、勢いよく短時間で描いたのかな」

「芦雪は自分のイメージを大切に、虎を描いたと思う」

鑑
賞
的
体
験

- ・他の虎図の図版を比較し、「虎図襖」の特徴について考える。
- ・ミニチュアの襖絵を組み立てて、「龍図襖」「虎図襖」の位置関係を理解する。
- ・実物大の「龍図襖」「虎図襖」に囲まれた空間に入り、場に与えられた変化を考える。
（拡大印刷 or プロジェクター投影）

俯
瞰
的
理
解

③ 美術に関して「自分としての意味や価値をつくりだす」ための発問

「建物の中に描かれた作品にはどんな役割があると考えますか？」

② 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション

「虎と龍にかこまれることで、不思議な場所になっている」

「絵は飾って楽しむためだけでなく、場所を演出するためにも使われるんだ」

「お寺や教会の絵は、宗教を表すために描かれたのではないか」

① 深く学ばせたい美術の特性・意義等

襖絵などの建築に設えられた美術作品は、装飾としての機能だけでなく空間に意味づけする機能を有する。